



# イングランドのリコーダーブーム

リコーダー

本村睦幸

チェンバロ

永野光太郎



## 17世紀末イングランドのリコーダー作品

- ジェイムス・ペジブル： リコーダーソナタ ニ短調  
ゴットfrey・フィンガー： リコーダーソナタ ヘ長調  
エドワード・フィンチ： リコーダーソナタ ハ長調 〈カッコソナタ〉  
ジョン・バレット： チェンバロのためのエアー集  
ほか

休憩なし60分のトークコンサート

同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)

夕 16:00 開演 (15:30 開場)

夜 19:30 開演 (18:30 開場)

各回20席限定・要予約 ¥3,800

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: [lusthof.concerts@gmail.com](mailto:lusthof.concerts@gmail.com)

あしの: 090-6045-9311



■ご予約フォーム

<https://forms.gle/7NRwKrJSQuWGR2Fs8>

2026年6月19日[金]

Space 415

中野区新井2-48-12

<http://space415.info/>

JR中央線/東京メトロ東西線

中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣

「芦野」の表札がある入口に入ってすぐ右の建物の2階

中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」。40 席中 20 席限定で、お客様ひとりひとりと演奏者が挨拶を交わせる社交の場となるようなサロンコンサートです。41 回目となる今回は、17 世紀末イングランドの作品を取り上げます。17 世紀末には、3 本の管を繋いで上部が太く下部が細い、現在の形のリコーダーが誕生し、以降リコーダーの作品がたくさん書かれるようになります。特にイングランドでは、フランスから渡ってきた名手ペジブルが一世を風靡する大スターとなり、ともにフランスから移住してきた製作者のブレッサンも数々の名器を作り始めるなど、大きなブームが起こっていました。リコーダーレパトリーの原点ともいえるその頃の作品をお楽しみください。また、今回共演をお願いした永野光太郎さんとは、バロックリコーダーの作品を動画で収録していくプロジェクトを今年から始めています。その第 1 弾はフィンガーの作品でした。今回の取り上げる曲とは異なり、演奏場所も違いますが。一番下に記したリンクからご覧ください。このような演奏を動画と同じように間近でお聴きいただくコンサートです。少人数のお客様と演奏者で音楽を共有する場を楽しみましょう。

**★ 約 100m 先左側(児童館手前)**

⑤ 二本目の角を左折  
(角切りに沿って)

④ 体育館の次の信号を右折

③ 中野体育館信号を左折

② 左手のエスカレーター  
/階段を登る

① 中野駅北口下車  
JR/東西線

**Space 415**  
〒165-0026  
中野区新井2-48-12  
電話03-5380-2430

### 本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

アムステルダム・スヴェーリンク音楽院卒。W.ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年にわたる活動を経て、2001 年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開し、2009 年に続き 2019 年の「東京リコーダー音楽祭」でディレクターを務めるなど、様々な方向からリコーダー音楽の魅力を発信している。リコーダーに本来の小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズや、リコーダーの様々なレパトリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉を活動のベースに置きながら、各地でコンサート活動を展開しつつ「高田馬場リコーダー練習所」を運営してアマチュア活動のサポートにも熱意を傾けている。ワオンレコードより多数の CD をリリースし、各種の音楽配信サービスで聴くことができる (Mutsuyuki Motomura で検索)。最新 CD は、2026 年 4 月リリースのジュゴンボーイズとの共演による「コンセルによるゴルトベルク変奏曲」。

高田馬場リコーダー練習所コーチ。デ・ルストホフ園長 (自称)。ホームページは、<https://mutsuyukimotomura.com/>

### 永野光太郎 Kotaro Nagano (チェンバロ)

ピアノを助川陽子、広瀬美紀子、永岡信幸、ダン・タイ・ソン、クラウディオ・ソアレスの各氏に師事。第 2 回オーストラリア国際ショパンピアノコンクールにおいて第 1 位、併せて聴衆賞を受賞。台北ショパン国際ピアノコンクールにおいて第 1 位。チェンバロ演奏も開始し、J-city TOKYO チェンバロ プレジャー 2014 において第 1 位。2013 年大阪国際音楽コンクールのチェンバロ部門で第 3 位。東京・高円寺のソフィアザールサロン「バロック」において、「Series チェンバロ de 歌う」を定期的開催している。2022 年より、中野の「スペース 415」で「永野光太郎の、チェンバロと合わせる会」を毎月開催。また、ヴァイオリニストの對馬佳祐氏と Youtube チャンネル「音楽家の日常」を創設。また同氏と数多くの古楽公演を行なっている。2012 年よりチェンバロやヴァージナル、クラヴィコード、スクエアピアノの製作を行っており、現在までに 13 台の楽器を完成させ、2018 年には高円寺のソフィアザールサロン「バロック」にフレンチ・チェンバロを納入した。2024 年には美術作家の中村真弥子氏とのコラボレーションで「北欧の森」チェンバロを製作し、お披露目コンサートは好評を博した。

2026 年より、本村睦幸・永野光太郎のコラボレーションで、バロックのリコーダーレパトリーから月 1 ペースで動画を上げていくプロジェクトがスタートしています。

プレイリストの URL は、<https://x.gd/2Aarp>

